



限界を超えろ！

生徒のみなさんへ

● つながりが生まれた体育大会 ●

予定されていた10月7日は雨で延期になり、11日、さわやかな秋空のもと体育大会を開催することができました。何より嬉しいことは、今年も限られた中ではありましたが、先輩と後輩の関わりやつながりが生まれたことです。私たちは、これまで当たり前だったことができなかった辛さを経験しました。だからこそ、この体育大会が行えることに感謝しながら、何より、「一人一人がつながること」、「絆」を大切にしながら過ごすことができました。これまで約2週間、「限界を超えろ!」というスローガンのもと、どのブロックもみんなで協力し、一人一人が「体力のすべて」「精神力のすべて」を出し切って、自分たちも、見ている人も感動できる体育大会を創り上げようと努力してきましたね。

大会当日も生徒の皆さんは本当に良く頑張りました。一つ一つの競技に、そして演技に、本気で取り組む皆さんの姿、限界に挑戦して打ち込む姿に感動しました。走る競技では、こけてもすぐに立ち上がり、歯を食いしばって全力でゴールを目指す姿。思うようにいかなかった仲間に対して「大丈夫!」と励ます姿。競技が終わり、応援席に戻る仲間に対して拍手で迎える姿。そのような仲間を懸命に励ましたり、応援したりする姿、そして、ブロックを越えておこる拍手を目にすると、この大会ができて、本当に良かったという実感が湧き上がりました。

1年生は、当初は小学校の運動会との取り組み方の違いに驚きつつも、練習に必死に食らいつく姿がありました。厳しさと共に、先輩たちの本気の姿からたくさんことを学んだことでしょう。2年生も、練習を重ねるごとに団結が深まり、真剣に取り組む姿がありました。結団式の時に私が与えた宿題は出来ましたか? 取組の期間を通して、「自分たちが3年生のリーダーの立場だったら、どのように後輩たちを引っ張っていけば良いか」ということを考え、理想とするリーダーのイメージをつくれたでしょうか。課題を見つけることができた人は、立派なリーダーとしての自覚が生まれている人です。是非、来年の取組に活かしてください。

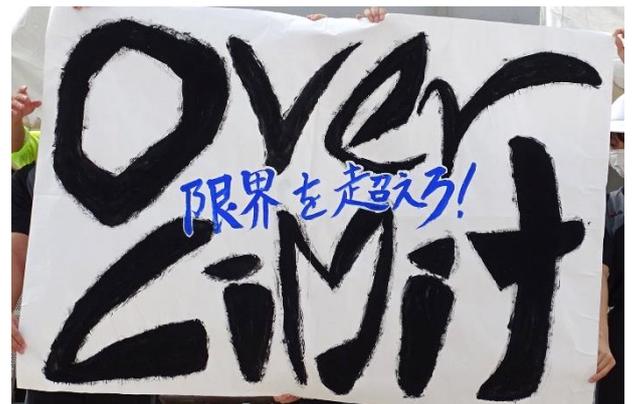
3年生は、各ブロックとも、後輩たちを叱咤激励しながら導く姿がありました。集団演技では、一人一人が全方向に注意を払い、互いの動きを感じ取る中で気持ちを一つにし、見事な集団演技を創り上げました。「リーダーとしての気迫」と「限界に挑戦して取り組むことの素晴らしさ」を、その姿で立派に示してくれました。



〇〇生徒会長を先頭に胸を張り整然と入場行進する様子



全校生徒の先頭に立ち、堂々と選手宣誓を行う〇〇体育委員長と〇〇体育副委員長



生徒会が中心となり作り上げた体育大会スローガン



ラジオ体操一つにも感動させることを目指し取り組みました



〇〇体育委員長の指揮の元、気持ちを一つにして披露したラジオ体操

真剣勝負！まずは1年生のやる気を示しました



気迫がピリピリと伝わってくる3年生の全員リレー

仲間を懸命に励まし応援する姿



仲間の想いが込められたバトンをつなぐことで、クラスが一つになったことを実感できた2年生の全員リレー



一人一人が全力を尽くして臨まないと成し得ないということを改めて感じさせた、3年生の集大成といえる見事な集団演技

全校生徒の皆さん一人一人が、真剣に全力で取り組むことの素晴らしさ、励まし合い、応援し合うことの素晴らしさ、そんな「空気」を創ってくれました。空気は文化であり伝統です。良い伝統を創り上げ、見るものを感動させてくれた皆さんに、心から拍手を送ります。この感動と頑張りを今後の学校生活に活かし、新たな伝統をつくり、つなげていってください。

(生徒の皆さんの感想・振り返りは次号以降より紹介していきます。)

保護者の皆様におかれましては、昨年度に引き続き、コロナ対策として3学年保護者のみの参観とさせていただきますことを、改めて深くお詫び申し上げます。取組期間中は、子どもたちの中にはご家庭で弱音を口にした子もいたかと思えます。子どもたちが大きな行事を最後まで乗り越えられたのは、きっと、皆様のご理解とご協力、そして、お子様へのお声かけや励ましがあったおかげかと思えます。心から感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

※体育大会についてはライブ配信に加え、オンデマンド配信を予定しております。詳細については後日ご連絡いたします。